



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ダイセル

コード番号 4202 URL <http://www.daicel.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 札幌 操

問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー

(氏名) 廣川 正彦

TEL 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日

平成27年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	226,488	3.6	31,633	24.6	32,684	23.5	21,346	25.9
27年3月期第2四半期	218,689	11.0	25,384	44.3	26,468	37.7	16,959	39.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 14,037百万円 (△52.6%) 27年3月期第2四半期 29,632百万円 (32.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	60.76	—
27年3月期第2四半期	48.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	565,274	362,895	58.9	946.95
27年3月期	565,332	356,177	57.3	922.71

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 332,683百万円 27年3月期 324,167百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	13.00	21.00
28年3月期	—	13.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	459,000	3.4	61,000	18.9	63,000	14.4	39,000	24.8	111.01

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	364,942,682 株	27年3月期	364,942,682 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	13,622,987 株	27年3月期	13,622,163 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	351,320,078 株	27年3月期2Q	351,344,745 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国で景気回復が続き、欧州でも景気の緩やかな回復が続く一方、中国では景気の緩やかな減速がみられました。日本経済は、企業収益の改善や設備投資の持ち直しの動きがみられるなど、景気の緩やかな回復基調が続きました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、為替の影響などにより、売上高2,264億88百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益316億33百万円（前年同期比24.6%増）、経常利益326億84百万円（前年同期比23.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益213億46百万円（前年同期比25.9%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

#### [セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途が減少しましたが、その他用途の増加などにより、売上高は増加いたしました。

たばこフィルター用トウは、世界的な需要減速や中国市場での在庫調整の影響を受けたものの、為替の影響などにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、537億42百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益は、156億16百万円（前年同期比22.2%増）となりました。

#### [有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、網干工場で2年に1度の定期修繕を実施したため販売数量が減少し、売上高は減少いたしました。

酢酸誘導体および各種溶剤類などの汎用品は、電子材料分野への販売数量は横這いとなりましたが、塗料用途などの販売数量が減少し、売上高は減少いたしました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などの機能品は、一部製品の販売が低調に推移しましたが、為替の影響などにより、売上高は微増となりました。

光学異性体分離カラムなどのキラル分離事業は、中国やインド向けなどのカラム販売が好調に推移したものの、スポットの大口受託契約が終了したことなどにより、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、409億53百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は、57億77百万円（前年同期比30.0%増）となりました。

#### [合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチック事業は、中国経済の減速や日系自動車メーカーの生産の伸びの鈍化、電子デバイス製品の販売低調の影響を受けたものの、為替の影響により、売上高は微増となりました。

ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、国内の販売が低調に推移したものの、海外での販売増加や為替の影響などにより、売上高は増加いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、シートの販売が減少し、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、835億8百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は、99億10百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

#### [火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生器）などの自動車安全部品事業は、インフレータの販売がほぼ横這いとなったものの、イニシエータ（インフレータの着火部品）の販売増加や為替の影響などにより、売上高は増加いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、一部製品の防衛省による調達数量増加により、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、454億5百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益は、58億97百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

[その他部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、下水道分野向けなどが低調に推移し、売上高は減少いたしました。

運輸倉庫業など、その他の事業の売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、28億79百万円（前年同期比5.3%増）、利益面では、営業損失73百万円（前年同期は営業利益38百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、主にたな卸資産、投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末に比し58百万円減少し5,652億74百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比し67億75百万円減少し、2,023億79百万円となりました。

また純資産は、3,628億95百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,326億83百万円となり自己資本比率は58.9%となりました。

② 当期のキャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は287億6百万円（前年同期は、246億4百万円の増加）となりました。資金増加の主な内容は、税金等調整前四半期純利益329億93百万円及び減価償却費122億13百万円であり、資金減少の主な内容は、売上債権の増加39億29百万円及び法人税等の支払額136億33百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は133億83百万円（前年同期は、140億58百万円の減少）となりました。資金減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出160億24百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は81億99百万円（前年同期は、105億80百万円の減少）となりました。資金減少の主な内容は、長期借入金の返済による支出41億9百万円及び配当金の支払額45億40百万円であります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は714億27百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の世界経済は、欧米や日本で景気の緩やかな回復が続くことが期待されるものの、中国を始めアジア地域での景気の減速など、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況下、当社グループは、中期計画「3D-II」の基本戦略である、新規事業の創出、コア事業のさらなる強化、グローバルでの事業展開の拡大・強化、生産基盤の強化などを着実に遂行しております。

当社グループの通期の業績見通しにつきましては、経済情勢の先行きが不透明であるものの、当第2四半期連結累計期間の利益が前回発表予想を上回ったことや、下期の為替、原料価格の前提見直しを踏まえ、売上高4,590億円、営業利益610億円、経常利益630億円、親会社株主に帰属する当期純利益390億円を予想しております。

<平成28年3月期の連結業績予想>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	467,000	54,000	56,000	35,000	99円62銭
今回発表予想(B)	459,000	61,000	63,000	39,000	111円01銭
増減額(B-A)	△8,000	7,000	7,000	4,000	
増減率(%)	△1.7	13.0	12.5	11.4	
(ご参考) 前期実績	443,775	51,303	55,063	31,252	88円95銭

※上記業績予想数値は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	64,594	69,042
受取手形及び売掛金	83,394	85,109
有価証券	5,185	3,484
たな卸資産	107,101	105,667
その他	19,628	21,669
貸倒引当金	△115	△110
流動資産合計	279,788	284,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50,048	48,608
機械装置及び運搬具(純額)	62,300	62,601
土地	27,793	27,500
建設仮勘定	23,604	27,009
その他(純額)	3,148	3,227
有形固定資産合計	166,896	168,947
無形固定資産		
のれん	4,919	4,437
その他	8,315	8,045
無形固定資産合計	13,234	12,483
投資その他の資産		
投資有価証券	81,662	74,999
その他	23,891	24,112
貸倒引当金	△141	△129
投資その他の資産合計	105,412	98,982
固定資産合計	285,543	280,412
資産合計	565,332	565,274

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,690	50,612
短期借入金	13,481	16,782
1年内返済予定の長期借入金	8,577	7,167
未払法人税等	10,467	6,333
修繕引当金	3,152	870
その他	25,202	28,359
流動負債合計	112,572	110,125
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	34,896	31,919
役員退職慰労引当金	79	79
修繕引当金	46	356
退職給付に係る負債	10,609	10,846
資産除去債務	1,093	1,096
その他	19,855	17,955
固定負債合計	96,581	92,254
負債合計	209,154	202,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	211,478	228,257
自己株式	△6,385	△6,387
株主資本合計	272,947	289,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,014	31,281
繰延ヘッジ損益	△88	△115
為替換算調整勘定	14,674	10,124
退職給付に係る調整累計額	1,619	1,666
その他の包括利益累計額合計	51,219	42,957
非支配株主持分	32,010	30,212
純資産合計	356,177	362,895
負債純資産合計	565,332	565,274

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	218,689	226,488
売上原価	162,159	160,272
売上総利益	56,529	66,216
販売費及び一般管理費	31,144	34,582
営業利益	25,384	31,633
営業外収益		
受取利息	203	269
受取配当金	609	703
持分法による投資利益	510	397
為替差益	158	26
その他	694	653
営業外収益合計	2,175	2,050
営業外費用		
支払利息	715	610
その他	375	388
営業外費用合計	1,091	999
経常利益	26,468	32,684
特別利益		
固定資産処分益	345	553
投資有価証券売却益	—	1,518
補助金収入	500	130
特別利益合計	845	2,202
特別損失		
固定資産除却損	446	1,762
減損損失	90	—
固定資産圧縮損	475	130
特別損失合計	1,012	1,892
税金等調整前四半期純利益	26,301	32,993
法人税、住民税及び事業税	7,249	9,022
法人税等調整額	△193	△246
法人税等合計	7,056	8,776
四半期純利益	19,245	24,216
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,285	2,870
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,959	21,346

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	19,245	24,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,880	△3,738
繰延ヘッジ損益	△45	△35
為替換算調整勘定	5,068	△6,346
退職給付に係る調整額	121	83
持分法適用会社に対する持分相当額	362	△141
その他の包括利益合計	10,387	△10,178
四半期包括利益	29,632	14,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,119	13,083
非支配株主に係る四半期包括利益	3,512	954

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	26,301	32,993
減価償却費	11,747	12,213
減損損失	90	—
のれん償却額	604	514
受取利息及び受取配当金	△812	△973
支払利息	715	610
持分法による投資損益(△は益)	△510	△397
固定資産除売却損益(△は益)	101	1,209
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,518
売上債権の増減額(△は増加)	△611	△3,929
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,585	△626
仕入債務の増減額(△は減少)	198	△5
その他	156	803
小計	29,395	40,894
利息及び配当金の受取額	1,857	2,049
利息の支払額	△730	△604
法人税等の支払額	△5,917	△13,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,604	28,706
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の純増減額(△は増加)	1,100	—
有形固定資産の取得による支出	△11,377	△16,024
有形固定資産の売却による収入	327	661
無形固定資産の取得による支出	△277	△396
投資有価証券の取得による支出	△2,411	△11
投資有価証券の売却及び償還による収入	13	3,686
貸付けによる支出	△261	△146
貸付金の回収による収入	3	88
その他	△1,175	△1,240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,058	△13,383
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,522	3,203
長期借入金の返済による支出	△5,316	△4,109
自己株式の取得による支出	△20	△1
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△3,162	△4,540
非支配株主への配当金の支払額	△558	△2,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,580	△8,199
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,078	△2,433
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,044	4,689
現金及び現金同等物の期首残高	62,573	66,737
連結子会社の決算期変更に伴う期首現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,452	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	66,070	71,427

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロース事業	有機合成事業	合成樹脂事業	火工品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	48,039	44,998	83,672	39,242	215,953	2,735	218,689	—	218,689
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,365	9,485	1	—	10,852	4,950	15,803	△15,803	—
計	49,405	54,484	83,673	39,242	226,806	7,686	234,492	△15,803	218,689
セグメント利益	12,784	4,444	8,014	4,837	30,080	38	30,119	△4,734	25,384

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,734百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロース事業	有機合成事業	合成樹脂事業	火工品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	53,742	40,953	83,508	45,405	223,609	2,879	226,488	—	226,488
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,110	7,979	9	—	9,099	4,944	14,043	△14,043	—
計	54,852	48,932	83,518	45,405	232,708	7,823	240,532	△14,043	226,488
セグメント利益又は損失(△)	15,616	5,777	9,910	5,897	37,202	△73	37,128	△5,495	31,633

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△5,495百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。